

飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

第 77 回 今、地球が、怒っている！

「災」の一語で象徴された、波乱の 2004 年を引きずるかの如く、2005 年の年明けは、ショッキングな大ニュースと共に始まった。

スマトラ島沖地震でタイ南部のカオラックを襲った津波の圧力は、広島に投下された原子爆弾の爆風の約 5 分の 1 に匹敵するといわれている。(松富英夫・秋田大助教授) 押し寄せた津波の高さは約 10.6 メートル、スピードは秒速 8 メートル、水流の圧力は、1 平方メートル当たり 6.7 トンと調査結果が報告された。広島の前爆の爆風は、爆心地付近で同 35.0 トンだったので「ほぼ約 5 分の 1 に匹敵する」ということになる。

A F P 通信によると、この津波による犠牲者は、9 日までに 15 万 6,000 人を超えた。死者が最も多いのはインドネシアの 10 万 4,055 人、スリランカ 3 万 718 人、インド 5,639 人、タイが 5,305 人の尊い命が奪われた。不幸にも、日本人の犠牲者も出ており、その数は正確に把握されていないが、今日(9日)現在、死者 23 人、安否不明邦人 86 人と外務省から発表されている。

歴史的な大災害に対し、全世界的規模で支援が行われている。ロイター通信は 9 日、各国、国際機関が表明した支援金の総額は、総額で 50 億 1,500 万ドル(約 5,300 億円)に達したと伝えている。1 位はオーストラリア(8 億 1,500 万ドル)、日本は 5 億ドル、約 528 億円の緊急支援を拠出する予定である。また、個人募金など民間援助の総額も 16 億 800 万ドルに上り、国際的な援助額としては過去最大規模になった。中には、自動車 F1 界のスーパースター、M シューマッハなどは、個人で 1,000 万ドル(約 10 億 5,000 万円)を寄付するという例もあった。サウジアラビアの国営テレビが、14 時間チャリティ番組で被災者への寄付を募った結果、一晩で 8,213 万ドル(約 86 億 7,000 万円)集まり、サウジ政府の拠出額 3,000 万ドルの 3 倍近い額となったとの報道も、何とも、論評しづらい話である。

民間援助はドイツがトップで 3 億 3,300 万ドル、以下、アメリカ 3 億 2,400 万ドル、イギリス 1 億 8,700 万ドルで日本については今日現在、集計されていない、不明である。

文字通り、「**未曾有の大惨事**」、現在生きている我々の誰もが、恐らく、誰一人体験したことがない「災」であろう。

厭世的な、世紀末云々...を唱えるつもりは毛頭ないが、「**地球が怒っている!**」ように思えてしまう。地球誕生以来、約 46 億年たった。人類の祖先・アウストラロピテクスが出現以来 300 万年、そして我々の祖先、新人(ホモサピエンス)が出現して 3 万年、人類が勝手にやりたい放題を、じっと見てきた「地球」が、今、怒りを投げかけてきた。自分が犯した罪に対し、いかにもその改心を求めるが如く...である。誰かじゃないが、「残念!」。